

令和8年7月30日

座間市議会議長
松橋 淳郎 殿

委員会名
又は会派名 新政いさま

氏 名 大矢 新一郎

市議会議員のためのハラスメント研修所感

今回のハラスメント研修を受講し、ハラスメントの本質は言動の意図ではなく受け手がどう感じたかという、受け手基準にあることを改めて深く認識しました。これまで、どこか自分は大丈夫と無意識に考えていた部分があり、その認識自体が非常に危険であったと痛感しています。自身に意図がなくても、受け手が不快感や精神的苦痛を感じればハラスメントは成立する。ハラスメントは特別な悪意から生じるものばかりではなく、日常の無自覚な言動の延長線上に潜んでいるという事実を痛感しました。私自身、もともと人とのコミュニケーションは得意ではないため、相手の感情を即座に汲み取ったり、適切な距離感を保ったりすることに苦手意識を持っています。だからこそ、自身の言動に対して人一倍慎重であるべきだと強く実感いたしました。これくらいは問題ないだろうという勝手な推測や油断は、コミュニケーションに苦手意識がある自分にとって大きなリスクとなります。特に議員という立場から発する関係性においては、相手が断りづらい、言いづらい状況にあることを常に意識し、自分の発言がどう受け止められるかをより丁寧に配慮しなければならないと感じました。

今回の学びを経て、今後の議員活動において最も徹底したいのは、迷ったら一度立ち止まるという姿勢。議員活動や日常の雑談において、自分の発言に少しでも不適切ではないか、相手を傷つけないだろうかと思い生じたときは、そのまま発言せず、一旦立ち止まって客観的に考え直す習慣を心がけるよう努力します。よかれと思ってという思い込みで突き進むのではなく、一度立ち止まる余裕を持つことが、無自覚の加害を防ぐ確実な防衛策になると感じました。今後は、自身のコミュニケーション上の課題から目を背けず、言葉選びや態度に対して常に慎重な姿勢を保つよう心がけます。感情的な言葉を避け、不確かさや迷いを感じたら必ず立ち止まって振り返ること。互いの尊厳を守り、議員として人として安心して働くこと活動のできる健全な環境の形成に向け、誠実に取り組んでまいります。